

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 9 月 16 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103292		
法人名	有限会社 託老所あんき		
事業所名	グループホーム こんまい「あんき」		
所在地	松山市西垣生町1680-1	(電話) 089-971-3318	
管理者	前田 珠貴		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 6 月 11 日	評価確定日	平成 20 年 9 月 17 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 22 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 10 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 6.6 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 22 日事業所記入)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1	2 名	要介護 2	3 名
要介護 3	1 名	要介護 4	2 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 88 歳	最低 75 歳	最高 99 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

2階建の民家を改修したホームは、住宅地の中に佇む一軒の「家」であり、利用者にとって自宅の延長で過ごせる場所である。職員は各利用者のその人らしさを尊重し、少しでも自立した生活が送れるよう、一人ひとりのできる力を大事にした支援に努めている。利用者と職員は一緒に外出したり、歌を唄ったり、洗濯物をたたんだり、食後の片付け等をしてながら、時に利用者から料理法や生活の知恵を教わり、共に仲良く暮らしている。近所の方が、地域に開放している「縁側」で過ごしたり、ホームの庭木や花の世話をしたり、部屋の掃除をする等、地域との交流が日常的で活発である。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価を踏まえ、経験の浅い職員の育成に努め、介護計画を介護日誌や経過記録と関連づけ、利用者の生活歴の様式を再検討する等、改善に熱心に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

運営者・管理者・職員は、外部評価の意義を理解した上で全職員が自己評価を行っている。その成果として、自己評価は日々のケアの振り返りになるものと捉えている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議ではホームの実状や行事報告を行い、意見を出してもらうほか、年間の統一学習テーマにそった勉強会も行われている。会議で出された意見や、得られた地域の情報等が、ホームのサービス向上に活かされている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の意見は家族来訪時の会話、運営推進会議、意見箱等で把握し、ホームの運営に反映させている。苦情相談の窓口は文書に明記し、家族に説明している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームは自治会に入り、利用者は地域の文化祭、敬老会、神社の祭り、幼稚園の行事等に参加している。近所の方が、ホームが地域に開放している「縁側」でくつろいだり、玄関先で利用者や職員と談笑したり、ホームの庭木や花の世話、部屋掃除等をしている。ホームと地域との交流は日常的かつ活発である。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームこんまい「あんき」

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 前田 珠貴

評価完了日 平成 20 年 5 月 22 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員会議等で地域密着型サービスについてその人の生活とは、その人の地域とはについてグループ討議を行い、理念の再確認をしている		
			(外部評価) 全職員で話し合っった理念で、利用者が地域の中でその人らしく暮らすことを支え、自立を支援する内容となっている。理念は玄関の見やすい場所に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の申し送りやホーム内での研修時に運営理念に基づいて支援が出来る様に話し合いを重ねている		
			(外部評価) 申し送りや学習会の時に理念を確認し合っている。日々のケアでは理念を念頭に、その人らしさを尊重し、安全に留意しながら、それぞれの力量を大事にした支援に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議やボランティア活動(心のテーブル)を通じて家族や地域の人に理念の大切さや地域で暮らし続けることの大切さを伝え話し合っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 利用者さんと散歩に出かけた時に会った人に挨拶をしたり、近所の方がホームの庭の草引きや水遣りを自主的にしてくれている 縁側を開放し、近所の方の散歩途中の休憩所や不用品交換の場として憩いの場所作りを行っている		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会の行事や敬老会、地区の文化祭や幼稚園の行事に利用者さんと職員が一緒に参加している (外部評価) ホームは地域の自治会に入り、利用者は地元の文化祭、敬老会、神社の祭り、幼稚園の行事等に参加している。近くの幼稚園児が作品を持参したり、週1回、利用者が幼稚園を訪ねる等の交流がある。近所の方が、ホームが地域に開放している「縁側」でくつろいだり、ホームの庭木や花の世話、部屋掃除等をしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者大学の講師として地域で老いることとはについて一緒に考え勉強している 老人クラブや地域の人を対象に、なるほどなっとく安心介護の講演会を実施した		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全員で行い、ケアの振り返りを行いながら、職員全体で意義の理解に努めている (外部評価) 運営者・管理者・職員は、評価の意義を理解した上で全職員が自己評価を行っており、日々のケアの振り返りになると捉えている。前回の評価後、経験の浅い職員の育成に努め、介護計画を介護日誌や経過記録と関連づけ、利用者の生活歴の様式を再検討する等、改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者さんの日々の生活の実態を報告すると共に、利用者さんの家族や職員、地域の人と共に救急法および緊急時の対応を年間テーマとして取り組んでいる (外部評価) 会議ではホームの実状や行事の報告及びそれらへの意見が出されるほか、年間の学習テーマにそった勉強会も行っている。参加者は市担当者、地域の役員、家族、近所の方、職員、実習生等様々で、会議運営も柔軟である。会議で得られた意見・地域の情報等をサービス向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 職員は市の研修に積極的に参加しているほか、ホームで行う行事には案内を出して参加してもらっている (外部評価) ホームは市の担当者と日常的に行き来する関係にあり、介護関連の情報を交換したり、市職員がホームの行事に参加する等の連携が進んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護に関する研修を受けた職員が報告研修を実施し、外部の講師を招き年に2回は研修内容として勉強している		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 事務所間（伊予つむぐの会）で勉強を行っていると共に、グループホーム内の縁側に近隣の人の出入りがあり第三者の目には常時触れている 広報誌や新聞の情報も提示している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には十分な時間をとり、説明及びケアの内容や雰囲気を感じてもらい理解を得ている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常生活の中で利用者さんとの会話から意見が聞けるように心がけている ボランティアさんとの交流により職員に伝えにくい事等はボランティアさんから職員に伝えてもらっている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の訪問時や受診した時に日常の様子等を連絡報告している（口頭で伝えるほか写真やビデオを見てもらっている） <hr/> (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は家族の来訪時や電話で、随時報告している。利用者の金銭はホームで管理し、家族の来訪時に出納帳に確認印を得ている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置しているほか、家族の訪問の機会をとらえ意見等を話してもらえるように心がけている <hr/> (外部評価) 来訪時の会話、運営推進会議、意見箱等から家族の意見を把握するように努め、それらを運営に反映させている。苦情相談窓口は文書に明記し、説明しているが、ホームの窓口担当者名や外部の連絡先等の記載がなく、やや分かりにくい。	※	内部の苦情相談窓口はホームの担当者名を記すことが望まれる。また、外部の相談窓口については連絡先として電話番号を明記しておくとしやすいため、検討を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月運営者と職員がミーティングを行い、意見を出しあい、反映できるものはすぐに実行している		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) リーダーが必要に応じて柔軟に対応し、職員の協力体制もできている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ワンユニットの為異動はないが、離職時には時間をとって利用者さんに説明をしている (外部評価) 運営者は異動や離職が最小限となるよう努力している。職員交替時は職員から利用者へ積極的な声かけを心がけ、早く顔を覚えてもらうよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人外の事務所と職員交換研修を実施している 法人内で介護技術の研修の機会を実施している (外部評価) 運営者は外部研修の講師を務めており、職員の育成にも熱意がある。職員は外部研修に積極的に参加し、学びを他の職員にも伝え、サービス向上に活かしている。定期的開催している内部勉強会でも、同法人内の職員と共に学び合っている。経験豊かな職員とそうでない職員の実践的な知識・技術での差がやや大きい。	※	利用者へのサービス提供の面で、職員間の格差を少なくした専門性のある支援が求められる。経験の浅い職員に対し、場面設定での体験的学習やロールプレイング等、工夫した学習を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修会において地域別グループワークに参加し情報交換を行っている (外部評価) ホームは他ホームと交流の機会があり、一緒に研修会を開催し、サービスの向上に努めている。また、福祉・介護関連の事業所同士が交流・学習の会を作っており、職員もこの会に参加している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ホーム外（法人内）の交流や親睦会を行っている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 成果目標シートを活用し、目標達成のための具体策を面談をして話し合っている 個々に応じた外部研修も実施している		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 十分な時間をかけ、本人の不安や困りごとに対して本人が納得いくまで傾聴している		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時に十分な時間をとり、相談内容から求めていることを受けとめ、時には家庭訪問をして現状の理解にも努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の希望を聞き、情報提供し一緒に考える努力をしている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 法人内での行事等や共用型通所介護を利用しながら、なじみの関係を作っている (外部評価) 職員は自己紹介後、声かけを多めにしたり、気さくな対応をすることで、利用者がホームに馴染めるよう工夫している。また、気の合いそうな利用者同士が共に過ごせる場を設け、早くホームに馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごしながら本人の趣味や生活歴、風習を考慮し、暮らしの中で発揮してもらっている (外部評価) 職員は、利用者と共に歌を唄ったり、会話を楽しみながら食事をしたり、調理をしたり、食後の片付け、洗濯物たたみ等を行っている。そして、人生の先輩である利用者から料理法、生活の知恵等を教わっている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事に参加してもらい、共にその雰囲気を楽しんでもらい、時には本人の好物の差し入れ等により家族と団欒できる時間が取れるなど切れ目のない関係を保っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日帰り旅行や行事に参加してもらったり、いつでも来てもらえる雰囲気作りをしている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の生活歴の中で忘れられないことを聞き、その場面や場所を逃さないように努力している		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者さん同士の共通の話題やレクリエーションを通し、お互いの関係が深まるように努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用者さんや家族の思いを聞き取り大切にしているもの、想いを受けとめて、いつでも来てもらえるような雰囲気や声掛けをしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中で、さりげなく本人の意向や希望を聞き、また家族からの意向や希望を聞き、ケアプランに反映している (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は、食事や外出の希望を聞いたたり、会話の中で何をしたいか察知したり、家族に入居前の暮らしぶりを聞く等で把握している。利用者毎の情報、思い等を記載していく生活歴の様式が未完成である。	※	個性を大事にした支援をしていく上から、また、職員が利用者の情報を共有する点からも、生活歴の様式を再検討し、ホーム独自の様式作成を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から聞き取り、生活歴の把握をし、生活の中で見えてきたことを家族や本人に再度聞き取り、生活歴の把握に努めている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日の食事と入浴と排泄とバイタルによる基本的な状況把握をし、なおかつ行動や言葉によって総合的に把握している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族から意見を聞き、職員全員でカンファレンスを行い、それに基づき介護計画を作成している (外部評価) 全職員で話し合い、利用者や家族の意向を反映した介護計画を作成している。また、利用者のちょっとした変化や気になることをメモして事務室の壁に貼り付けて共有し、介護計画作成に活かしたり、支援の参考にしていく。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 期間に応じて見直しし、変化が生じた場合は状況の把握を行い家族や関係者から情報収集し、新たな計画作成をしている (外部評価) 各利用者の介護計画を経過記録や介護日誌と一緒に綴じ、常に関連づけたケアをしている。月に1回、計画作成担当者に報告し、また利用者に変化が生じた場合はその都度見直すことにしている。変化がなくても3か月に1回は見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の出来事や気付いたことは個人記録と申し送りノートに記入し、全員が情報を共有し、ケアマネジャーと共に介護計画の見直しを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の状況により、外泊や外出を希望されたり各機関への送迎等状況に応じて柔軟に対応している (外部評価) 急な受診や墓参り、家族の宿泊、冠婚葬祭等、利用者と家族の変化する状況に応じて、臨機応変かつ柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 年間を通じて行事に参加してもらったり、訓練事業や地区文化祭、また月4回の幼稚園児との交流や地域の医療機関およびボランティア、地域住民の方々と住民の支えあいについての学習をしている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要と思われる利用者さんの該当がありません		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要と思われる利用者さんの該当がありません		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び家族の希望により、往診や訪問歯科その他の医療機関への受診に同行し、家族への報告を行っている (外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援し、利用者の状況に合わせて協力医療機関の訪問診療や訪問看護等で適切な医療が受けられるよう支援している。また、月に1回は協力医療機関による定期検診を実施している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 状態により協力医院の相談や助言をあおいでいる指示により他の専門医にも受診している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 法人内の看護師や地域の医療機関の看護師と連携をとっている 協力医院の看護師がホームの隣に暮らしているので何かの時には相談している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 馴染みの関係が切れないように職員が順次面会に行き、必要に応じて病棟の看護師に状態を伺っている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 日頃から本人の希望、家族の気持ちを医師に伝え、職員全員が情報の共有を図り、状態の変化に応じて連携を図っている (外部評価) 重度化や終末期のあり方について、早い時期から利用者・家族・かかりつけ医・職員等で話し合っている。利用者や家族の希望にそった重度化や終末期の対応が可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度や終末期であると医師から伝えられた時、家族と職員とで今後に向かってのカンファレンスを行い、家族の意向を受けとめ、家族と医師と共に状態を共有し、最後までその人らしく暮らせるように看取っている		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人に関わる全ての関係者が面談し、情報交換した後書面で情報提供している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりに合わせた声掛けや、昔の馴染みのある呼び方で対応している(家族にも確認をとっている) 記録は厳重に保管している		
			(外部評価) 常に一人ひとりの思いを尊重した対応を行い、耳元で小声の確認をする等プライバシーへの配慮がある。記録類の個人情報については保護の観点から適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 自己決定できる方については自己決定に添えるケアをしている 本人に説明しても自己決定できにくい方については家族と共に考え支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者に今日1日何をして過ごしたいか、何を食べたいか話し合いながら本人がしたいことを優先し楽しく過ごしている (外部評価) 利用者が靴を履くのに時間がかかっても待つ、ゆっくり食事をしているのを見守る等、一人ひとりのペースを大事にした支援を心がけている。また、近くの神社へ行く、散歩に行く、同法人の託老所の習字教室に行く等、利用者の希望が叶うよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 美容室に行きたい人は希望する美容室に行ってもらっている気分を変えたいときなどは、毛染めのカラーを本人の好きな色に染め喜んでもらったり、マニキュアをしたりしておしゃれを楽しんでもらっている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者さんが何を食べたいかを聞き、期待にそえるように作っている 食べ終わると自分からすすんで片付けを手伝ってくれている (外部評価) 利用者の食べたい物を聞いて献立を作り、冗談や会話を楽しみながら食事をしたり、利用者の力量を活かしながら食事の介助をしている。食後は、共に下膳、食器拭き等を行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) それぞれの嗜好を聞き、食べれる形態を工夫してなるべく手作りのおやつを楽しく食べてもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを知り、家族と相談して、日中はなるべく下着で夜間は尿量にあわせたオムツを提供している		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 時間帯、お湯の程度、入浴の時間等一人ひとりの希望に添って配慮し、入浴してもらっている 入浴は毎日実施している (外部評価) 入浴は毎日、午後の時間帯で、利用者が希望する日や時間に可能である。脱衣室にはイスを置き、浴室内には縦・横の手摺、入浴用品を整備するなど、安全への配慮がある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの1日のリズムに合わせたお昼寝や庭の散歩等を行っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その人の得意としている事を、日々の生活の中に取り入れ、外食やドライブや散歩等本人が希望する支援をしている (外部評価) 神社や寺院へのお参り、外食、近くの幼稚園の訪問、同法人内の託老所の習字教室への参加、手芸、料理、食後の片付け、洗濯物たたみ等の楽しみごとや役割を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買物や外食時には、それぞれの好物やメニューを選んでもらい楽しんでもらっている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日々庭に出て過ごす事が多く、近所の人との交流もあり、又四季折々にはお花見や日帰り旅行等も実施している その都度利用者さんに聞きドライブは実施している (外部評価) ホームは利用者が戸外に出かけることを推進し、神社や寺院へのお参り、外食、ドライブ、買い物、幼稚園の訪問等、希望にそった外出支援を行っている。外出しない場合でも、玄関先でいすに腰かけてホームの庭を眺めたり、風を感じたりしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ドライブを兼ねて近く八十八ヶ所参りに出掛けたり、すんでいた所のお祭りや行事に参加している		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望者には本人の部屋に電話を置き、自由に電話出来る様に支援している はがきや手紙が届いた時には本人に手渡し、一緒に読んでいる		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 電話で話したお友達が遊びに来てくれたり、面会時間は決めていないので、家族や近所の人も自由に出入りしてもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員で身体拘束に対する理解を深め、身体拘束をしないケアを心がけている		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全室、玄関等日中は鍵はかけていない (外部評価) 運営者及び全ての職員が玄関等に鍵をかけないケアの意義を理解しており、日中の玄関や居室に鍵はかかっている。玄関の戸には大きな鈴がついている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は皆でリビングで過ごす事が多く、自室で過ごしている方には時々声掛け見守りをしている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 生命の危険を伴う物品については厳重に管理保管し、注意が必要な物品については職員が置き場所を把握している		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットや研修会に参加して知識を深めている 年2回の防災訓練には町内及び利用者、職員全員参加している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアル作成しマニュアルどおりの対応訓練をしている 応急手当の研修に参加している		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 町内の防災訓練を実施するにあたり、当ホームで夜間地震による火災発生を想定した訓練を実施する予定 予定日：11月実施 町内会長と打ち合わせ済み (外部評価) 年1回、消防署に来てもらい、地域の方をまき込んだ防災訓練を実施している。避難場所は近くの民家の空き地であり、備蓄については現在検討中である。平成20年11月には町内の防災訓練に合わせて夜間想定での訓練を予定している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じてその都度家族に説明し、意見交換して納得してもらっている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 個々の表情や動作、毎日のバイタルチェックで健康状態を把握し、記録し、異変時には上司に連絡して対応している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の服薬管理を行い、薬の効能効果・使用上の注意等を添付し職員全員に周知している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘についての研修会に参加し、食材や水分が取れる工夫をする他、散歩等適度な運動も職員と一緒にしている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者さんの希望により毎食後は必ずしも歯磨きをしていない人もいるが、1日1回は必ず口腔ケアをしている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 昔ながらの食材にこだわり、昔食べていたものの継続、食事量の把握と記録し、職員間で伝達しあって1日の栄養、水分の確保ができるように気をつけている (外部評価) 食事摂取量や水分量は都度チェックしている。食事介助は一人ひとりの状態や力量に応じて行っている。職員は口から食べることを大切に考え、飲み込み困難な利用者にミキサー食をドレッシング容器で上手く食べてもらうなど、個別に工夫して支援している。栄養バランスは看護師でもある運営者がチェックしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染マニュアルを作成し、ノロウイルスに対しては独自のノログッズを準備している インフルエンザ等は本人、家族の希望により予防接種、その他の感染については医師と連携を図っている		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日、調理用具等は殺菌除菌の漂白をしている		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関の前に縁台を置いたり、花壇を作っている 近所の人々が花壇作りを手伝ってくれている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花や馴染みの置物等により、心地よく過ごせるような設えに工夫している (外部評価) 民家を改修したホームは、利用者にとって自宅の延長という感じの居心地よい住まいとなっている。玄関、居間には見やすい時計や季節の花があり、利用者の習字や絵等の作品を飾り、行事の写真を壁に貼る等、温かい雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 庭の見える廊下にソファを置いたり、デッキにも花やソファを置きくつろげる空間を提供している		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に本人と家族が相談して、馴染みの家具や品物を持ってきてもらっている (外部評価) 居室は使い慣れた時計、衣装ケース、お気に入りの飾り、写真、神棚等が持ち込まれ、習字や絵等の作品も飾られていて居心地よく過ごせる部屋となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 全室両側が庭に接しているため空気の流れはよく、個々にあった冷暖房機を設置し、共有場所にも冷暖房機を設置している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) それぞれの身体機能に応じた生活リハを取り入れている (段差等の活用)		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 個々の力により、本人の希望していることや工夫したいことを一緒に行っている わかる力が弱くなっている人については家族の意向に添って支援している		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外回りは近所の方が花壇作りをしてくれている 縁側には椅子や縁台を置きくつろげる工夫をしている		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	毎日、何をしておきたいかを聞き、なるべく期待にそえるようにしている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) ③ たまにある ④ ほとんどない	個々のくつろぐ場所でおやつや日常会話を職員と一緒に楽しんでいる
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	それぞれの生活リズムのペースで暮らしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	日常会話の中やゲーム等を通して沢山の笑顔がみられている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	その日の利用者さんの希望により、ドライブ・買物・カフェ等に行ったりしている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	月に1回の定期受診・定期服薬処方と急病に対しては医療機関との連携を図っている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者さんのお友達の突然の訪問や、美容室や友人宅への訪問を急に希望された時にも対応している 家族との外出も自由にしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	家族の訪問時にはゆっくと時間をとり、困りごとや不安は無い聞き取りをしている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) ③ たまに ④ ほとんどない	近所の方が花壇の水遣りや草引きに来てくれたり、縁側に近所の方が話に来ている

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に参加してくださった方が、散歩中に気軽に声をかけてくれたり、物を頂いたり、近隣の付き合いも深まっている 地域住民やボランティアさんとの勉強会を通じ、認知症の理解も深まっている
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間の意思疎通ができていて、なんでも言い合える仲間になり利用者さんと一緒に笑いがたえない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね満足していると思うが、中には遠慮したり言語が不自由な為全部伝えきれているとは思えない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族さんの普段の感謝の気持ちは必ずしも本音とは思わず、利用者さんと家族さんがここで良かったと思ってもらえるように努力していきたい

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

NPOボランティアが主催の地域交流スペースの活用および地域交流の輪を広げるためのアンケートや勉強会を実施する
毎週幼稚園との交流や書道教室、毎月の音楽や体操をデイサービスと一緒に年間通じて行っている(地域の文化祭に出展する)
NPOボランティアが主催の縁側プロジェクト(心のテーブル)を食を通じて地域まきこみ開催している
地域の人がいつでも立ち寄れる縁側を開放している(近所の人が戸締りや掃除をしてくれている)